

事業コード	H25-建-継-01		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方街路交付金事業		部局課室名	建設部 都市計画課
事業種別	道路改築		班 名	都市整備班 (tel) 018-860-2444
路線名等	都市計画道路 中央線		担当課長名	吉尾 成一
箇所名	横手市本町		担当者名	京谷 仁美
総合計画との関連	政策コード	17	政 策 名	新たな生活圏の創造
	施策コード	01	施 策 名	街なか活性化による賑わいの再生
	指標コード	02	施策目標(指標)名	街なか居住の促進

1. 事業の概要

事業期間	H21 ~ H27 (7年)	総事業費	27.1億円	国庫補助率	0.7	
事業規模	延長L=499.75m 幅員W=16.0m(車道部9.0m、歩道3.5m×2)					
事業の立案に至る背景	<p>○本路線は、横手市の中心市街地を南北に縦断する都市内幹線道路であり、周辺には行政施設や文教施設等の公共公益施設が立地していることや、バス路線にもなっており、都市生活を支える重要な路線である。しかし、当該区間は幅員が7mで城下町特有のクランク部分があり見通しが悪い上、歩道もなく交通事故が多発していることから、安全な通行を確保できていない状態にある。</p> <p>○都市幹線道路としての円滑な交通の確保と、地域住民及び歩行者の安全確保を目的として、整備するものである。</p>					
事業目的	<p>○バス交通を含めた都市内交通の円滑性確保</p> <p>○地域住民、道路利用者の安全確保(死傷事故は10年間で14件。死傷事故率114件/億台kmは県平均の約2.7倍)</p> <p>○公共公益施設、中心市街地へのアクセス向上</p> <p>○緊急輸送道路としての機能確保</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	3,000,000	2,710,000	-290,000		
	経費 内訳	工事費	200,000	200,000	0	
		用補費	2,650,000	2,360,000	-290,000	
		その他	150,000	150,000	0	
	財源 内訳	国庫補助	1,650,000	1,897,000	247,000	
		県 債	1,111,500	585,300	-526,200	
		その他	180,000	162,600	-17,400	
	一般財源	58,500	65,100	6,600		
事業内容	調査設計 用地補償 改良・舗装工	調査設計 用地補償 改良・舗装工				
事業の進捗状況	○用地買収を進めているが、国の交付金が要望どおりとならないため、予定より遅れているが、予定通りH27年度に完了見込みである。					
事業推進上の課題	○事業の進捗が予定より遅れていることに対し、地元から不満がでている。					
関連する計画等	○市街地再開発事業、まちづくり交付金事業 ○横手市施行中央線整備事業					
情勢の変化及び長期継続の理由	○特に情勢の変化はなく、隘路区間を早急に解消する必要がある。					
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	都市計画道路整備率				
	指 標 式	整備済み延長/都市計画決定延長				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	● 有 ○ 無		
	目 標 値 a	58 %	データ等の出典	都市計画年報		
	実 績 値 b	58 %				
達成率 a/b	100.0 %	把握の時期	平成24年9月			

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 事業実施にあたっては、コスト縮減等に努める。
	②指摘事項への対応 整備計画を踏まえ、コスト縮減に留意して施行する。

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○都市計画区域マスタープランにも位置づけられている都市幹線道路である。 ○交通量は、5,448台/12h (H19調査) に対し、5,287台/12h (H25調査) で、H25/H19は97%となっており、交通状況の変化はない。 ○着手前10年間で14件発生していた死傷事故は、H20からH22において3件発生しており、依然として事故が多い。	25 点
緊 急 性	○周辺地区から中心市街地や公共公益施設へのアクセスが向上する。 ○市街路事業との連携により、交通事故の発生が抑制される。 ○緊急輸送道路で延焼防止効果もあり、都市の防災機能が向上する。	8 点
有 効 性	○市街地再開発事業を実施している横手駅前地区へのアクセス道路となる。 ○歩道のバリアフリー化により快適な歩行空間が確保される。 ○堆雪帯の設置により冬季の円滑な交通が確保される。	23 点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.10であり効率性は高い。 ○工事発注の際に、リサイクル材、プレキャスト製品の使用等、コスト縮減に努める。	18 点
熟 度	○国からの交付金が要望どおりとならないため、事業の進捗は遅れているが、予定通りH27年度に完了見込みである。 ○横手市からは要望があるほか、市で隣接区間の整備を同時に進めており、県と連携を密にして事業を進めている。	9 点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III) ○交通事故の抑制や緊急輸送道路の位置づけなど、防災機能向上に対する効果は高いことから、引き続き実施すべきである。	83 点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	○事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所・**継続箇所** 事業コード (H25-建-継-01) 箇所名 (横手市本町)

適用事業名 **街路事業**
(通常事業・交付金事業・地方特定事業・県単独事業)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性 (30点)	都市計画道路の規模及び機能					
	道路の規模及び分類	幹線街路 補助幹線街路 上記以外の補助幹線街路など	4 2 0	4	幹線道路	
	都市構造上の機能	放射環状道路 都心軸を補完する道路 その他の道路	4 2 0	4	市中心部を縦貫する放射道路	
	現況道路における問題箇所 (バイパス・新設路線については、競合する路線を現況道路とみなす)					
	交通容量不足 (現道混雑度1.0以上)	該当 非該当	1 0	0		
	主要渋滞箇所の渋滞解消・緩和 に効果のある道路	該当 非該当	2 0	0		
	狭隘道路 (1車線道路・一方通行道路)	該当 非該当	2 0	0		
	線形不良・勾配不良 (道路構造令又は県の基準に達しない道路)	該当 非該当	2 0	2	線形不良(クランク)	
	バス路線	該当 非該当	2 0	2	横手・大曲線(羽後交通)	
	歩道や自歩道が無い道路 (規定幅員が確保されていない場合を含む)	該当 非該当	4 0	4	歩道なし	
	通学路指定	該当 非該当	2 0	2	朝倉小学校通学路	
	人身事故発生地点	該当 非該当	2 0	2	3件(H20~H22)	
	交通状況の変化 (バイパス・新設路線については、競合する路線を現況道路とみなす)					
	この事業の目的が失われるような交通 状況の変化はない(交通量、渋滞長等)	該当 非該当	5 0	5	交通量 H25/H19=97% 5,287/5,448 台/12h	
	計			30	25	
	緊急性 (10点)	防災機能向上への貢献度				
		・緊急輸送道路	該当項目2以上	7	7	第二次緊急輸送道路
		・避難路	該当項目1	5	7	延焼防止(7m→16m)
		・老朽橋梁又は耐震性の劣る橋梁の架替・補強	該当項目0	0		
		・延焼防止(現況幅員W<12m→拡幅後W≥12m)				
関連事業の有無						
各種プロジェクト支援 (国・県・市町村など)		該当 非該当	1 0	0		
公共公益施設等アクセス (市町村役場・医療機関・学校・公民館など)	該当 非該当	1 0	1	横手市役所		
他の公共事業関連 (街路事業以外の事業支援)	該当 非該当	1 0	0			
計			10	8		
有効性 (25点)	市街地の活性化とまちづくりへの貢献度					
	・DID区域内	該当項目2以上	10	10	DID、中心市街地活性化	
	・市街地再開発・区画整理等との連携	該当項目1	5			
	・無電柱化計画	該当項目0	0			
	・景観、中心市街地の活性化やまちづくりに資する					
	・商業地域内					
	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度					
	・高速ICアクセス	該当項目2以上	5	3	広域道路整備計画	
	・港湾・空港アクセス	該当項目1	3			
	・新幹線駅又は特急停車駅へのアクセス	該当項目0	0			
	・主要な観光地へのアクセス					
	・駅前広場の造成					
	・広域道路整備計画					
安全で快適な生活環境への貢献度						
・バリアフリー	該当項目2以上	5	5	流雪溝、堆雪幅		
・二次・三次医療施設へのアクセス	該当項目1	3				
・消融雪施設又は流雪溝の整備	該当項目0	0				
・耐雪幅の確保						
・道路緑化の推進						
社会情勢の変化						
社会情勢の変化による事業の有効性	有効性が高い 低下傾向 有効性が低い	5 3 0	5			
計			25	23		

評価種別 新規箇所 (継続箇所) 事業コード (H25-建-継-01) 箇所名 (横手市本町)

適用事業名 **街路事業**
(通常事業・交付金事業・地方特定事業・県単独事業)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
効率性 (20点)	費用便益比(B/C)				
	費用便益比(B/C)	1.0以上	5	5	B/C=1.10
		1.0未満	0		
	計画交通量				
	計画交通量	10,000台/日以上	5	3	8,700台/日
		4,000台/日以上10,000台/日未満	3		
		1,000台/日以上4,000台/日未満	2		
		1,000台/日未満	0		
	コスト縮減・リサイクル推進貢献度				
	・コスト縮減に積極的に取り組んでいる	該当項目2以上	5	5	廃棄物の発生抑制 リサイクル製品、再生骨材を使用
・廃棄物の発生抑制、再資源化及び適正処理	該当項目1	3			
・リサイクル製品、再生骨材等の使用	該当項目0	0			
・新工法・新技術の採用					
事業中止又は休止による影響					
事業を中止・休止した場合の成果に対する影響	代替手段がなく、影響が大きい	5	5	代替手段なし	
	代替手段はあるが、影響が大きい	3			
	代替手段があり、影響が小さい	0			
	計		20	18	
熟度 (15点)	事業の進捗状況				
	事業進捗率 (事業費ベース)	計画通り又は計画より進捗している	5	4	
		概ね進捗(80~100%未満)	4		
		計画より遅れている(50~80%未満)	2		
		計画よりかなり遅れている(50%未満)	0		
	用地買収進捗率 (用地面積ベース)	計画通り又は計画より進捗している	5	2	
		概ね進捗(80~100%未満)	4		
		計画より遅れている(50~80%未満)	2		
		計画よりかなり遅れている(50%未満)	0		
	地域の協力体制				
・事業推進のための各種協議会等が設置されている	該当項目2以上	5	3	横手市要望	
・地域住民の取り組みが積極的である	該当項目1	3			
・市町村自ら積極的に用地交渉など事業の推進に関与している	該当項目0	0			
・地元要望がある					
	計		15	9	
	合計		100	83	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		